

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190300147		
法人名	九州メディカル・サービス株式会社		
事業所名	グループホーム安心とどろき		
所在地	佐賀県鳥栖市轟木町1473-3		
自己評価作成日	平成25年1月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成25年1月30日	外部評価確定日	平成25年3月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>協力医療機関である仁徳会今村病院と、訪問看護ステーションあんしんとの医療連携により、利用者様の健康管理や急変時の迅速な対応が出来、安心して生活して頂けます。 また、一人一人の希望に合わせた生活を心がけており、共同生活での不満や不安を解消できる様に日々努力しています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>鳥栖市の中心市街地より少し離れた郊外の住宅地に位置したグループホームである。以前より併設事業のデイサービスと同一建物内で運営されていたが、手狭にもなり隣接敷地にグループホーム単独棟として新築運営されて1年が経過した。2ユニット二階建てではあるが、外観は、家を思わせる造りであるし、一日の流れも生活感を感じさせるものがある。併設の総合病院も近く、訪問看護ステーションも従来と変わらない距離にあり、入居者も家族も安心して過ごしておられる。木の香が漂うような真新しいディールームや居室でスタッフ共々活気に満ちた雰囲気となっている。</p>

自己評価および外部評価結果

【セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。】

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づき職員間で毎朝の朝礼時に復唱を行い、確認認識をしている。また、理念の共有と実践を職員間で心がけている。	理念に基づき職員間で毎朝の朝礼時に復唱を行い、確認認識をしている。また、理念の共有と実践を職員間で心がけている。	「利用者様本位の運営を行い、人間賛歌の施設をめざす。」を理念とし、毎日の朝礼時に参加者全員で唱和し日常業務に活かしている。又、理念と行動規範とを具体化し、これ等を三つ折りのカードとしてスタッフ各自の名札の中に入れ、必要な時いつでも見れるように工夫されている		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	天候の良い日には、近所の神社へ散歩に出掛けたり、買い物やドライブなどへ行かれたり、夏祭り・敬老会等の行事の際にボランティアを招き交流している。	天候の良い日には、近所の神社へ散歩に出掛けたり、買い物やドライブなどへ行かれたり、夏祭り・敬老会等の行事の際にボランティアを招き交流している。	近所の神社へ散歩に出掛けたり、買い物に出掛ける時など近所の方とあいさつを交わしている。また、事業所の夏祭りや敬老会にボランティアを招くなどして交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症に関する勉強会等を開催して職員の理解度を向上させているので、地域の人々に向け活かして行きたいと思っている。	認知症に関する勉強会等を開催して職員の理解度を向上させているので、地域の人々に向け活かして行きたいと思っている。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度開催し、入居者様の日頃の様子や行事等の様子を報告させて頂いたり、事故報告も合わせて報告している。ご家族様や行政の意見は議事録として記録し、改善に努めている。	2ヶ月に一度開催し、入居者様の日頃の様子や行事等の様子を報告させて頂いたり、事故報告も合わせて報告している。ご家族様や行政の意見は議事録として記録し、改善に努めている。	運営推進会議は2ヶ月に1度実施され、開催日毎の議事録もきちんとファイルされている。議題は入居者の移動・状況、行事の実施状況・計画、行政からの報告、事故が起きた場合には状況・結果報告等である。開催案内状も行政・地域・家族へと配布されている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政主催の研修会に積極的に参加し、事業所の現状やサービスの取り組みについて相談、助言を仰いでいる。又、必要に応じて連絡を取っている。	行政主催の研修会に積極的に参加し、事業所の現状やサービスの取り組みについて相談、助言を仰いでいる。又、必要に応じて連絡を取っている。	市の担当者には運営推進会議にも出席して頂き、行政主催の研修会にもスタッフを派遣したり、管理者も事業の運営について相談もし、助言も頂きながら協力関係を築けるように取り組んでいる。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する勉強会を開催し、スタッフの理解及び意識付けに努めている。また、入居者様の安全を考慮し、必要があればご家族様に同意を得て行う場合もある。身体拘束を行った場合は、毎月身体拘束廃止に関する検討会を開催し、議論している。	身体拘束に関する勉強会を開催し、スタッフの理解及び意識付けに努めている。また、入居者様の安全を考慮し、必要があればご家族様に同意を得て行う場合もある。身体拘束を行った場合は、毎月身体拘束廃止に関する検討会を開催し、議論している。	身体拘束の入居者に与えるリスクは研修等を通じてスタッフ全員が理解している。必要な場合のみ、玄関出入り口等に施錠をすることもありますが、家族の理解を得る努力をし、短時間で済むように工夫をしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所での社内研修年間スケジュールを作成し、高齢者虐待防止法についての勉強会を盛り込み実施している。	事業所での社内研修年間スケジュールを作成し、高齢者虐待防止法についての勉強会を盛り込み実施している。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	行政主催の研修会に参加したり、司法書士の方をお招きして勉強会を開催する等して、スタッフ一人一人が理解していく為の機会を設けていく。	行政主催の研修会に参加したり、司法書士の方をお招きして勉強会を開催する等して、スタッフ一人一人が理解していく為の機会を設けていく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者及び計画作成担当者が書類の説明を行い、納得・理解を示して頂いている。又、質問等は随時行っている。	管理者及び計画作成担当者が書類の説明を行い、納得・理解を示して頂いている。又、質問等は随時行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	受付カウンターに苦情・要望BOXを設置して、随時確認を行っている。入居者様やご家族の口頭による苦情や要望があった際にも報告書をまとめ、スタッフ休憩室に掲示して確認を行っている。	受付カウンターに苦情・要望BOXを設置して、随時確認を行っている。入居者様やご家族の口頭による苦情や要望があった際にも報告書をまとめ、スタッフ休憩室に掲示して確認を行っている。	玄関出入り口には苦情・要望BOXを置き、気軽に入れて頂くように配慮している。運営推進会議にも案内し、家族に参加して頂いている。面会等にいらした折の話の中で、入居者が使われている食器の事や投棄について改善された面もある。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回、カンファレンスを開催し、スタッフの意見や提案を管理者も含め参加者全員で話し合い、報告を行っている。	毎月1回、カンファレンスを開催し、スタッフの意見や提案を管理者も含め参加者全員で話し合い、報告を行っている。	毎月1度のスタッフ会議の席上で、意見を出してもらったり、スタッフと代表者や管理者とのコミュニケーションの場をつくるなど、意見・要望を聞き、運営に反映させるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は同法人内の会議にて現状報告を行っており、現場スタッフの意見は随時管理者へ報告している。	管理者は同法人内の会議にて現状報告を行っており、現場スタッフの意見は随時管理者へ報告している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に2回人事考課を行い面談等を行っている。また、行政主催の研修会に積極的にスタッフの参加を促し、カンファレンス時等に研修会の報告を行っている。	年に2回人事考課を行い面談等を行っている。また、行政主催の研修会に積極的にスタッフの参加を促し、カンファレンス時等に研修会の報告を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会等に参加したり、行政主催の研修会に参加して同業者との交流を持ち、サービスの質の向上に努めている。	グループホーム連絡協議会等に参加したり、行政主催の研修会に参加して同業者との交流を持ち、サービスの質の向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設見学の希望があった際には随時案内を行い、入居希望時には事前に情報収集の機会を設けて安心して入居して頂ける様に努めている。	施設見学の希望があった際には随時案内を行い、入居希望時には事前に情報収集の機会を設けて安心して入居して頂ける様に努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設入居を希望されるご家族様には施設の運営規定を十分に説明を行うと共に、ご家族様の不安や要望をお聞きして入居して頂ける様に努めている。	施設入居を希望されるご家族様には施設の運営規定を十分に説明を行うと共に、ご家族様の不安や要望をお聞きして入居して頂ける様に努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に収集する情報提供書やご家族様の意向をお聞きして、介護サービス計画書に反映するように努めている。	入居前に収集する情報提供書やご家族様の意向をお聞きして、介護サービス計画書に反映するように努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の片付けや掃除等の家事作業を入居者様の方々にも参加して頂き、スタッフだけでなく入居者様同士の協力し合える環境作りに努めている。	食事の片付けや掃除等の家事作業を入居者様の方々にも参加して頂き、スタッフだけでなく入居者様同士の協力し合える環境作りに努めている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事の時にはご家族様を招待して本人様とご家族様の交流を深めたり、ご家族様の面会時には、ゆっくりとくつろいで話ができる環境に配慮している。	行事の時にはご家族様を招待して本人様とご家族様の交流を深めたり、ご家族様の面会時には、ゆっくりとくつろいで話ができる環境に配慮している。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や知人の面会もあり、毎月希望者があれば近くのスーパーへ買い物へ行ったり、散歩へ出掛けたりしている。	友人や知人の面会もあり、毎月希望者があれば近くのスーパーへ買い物へ行ったり、散歩へ出掛けたりしている。	昔馴染みの友人・知人が面会に来られることが多い。特に入居間もない方については家族等に馴染みの方の訪問をお願いしている。又、事情により親族が疎遠な状態にあられる入居者には、かつてご近所に住んでおられた方が親身になってお世話して下さっている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日頃からレクリエーション等を通じて、入居者様同士が関わり合える環境を作ると共に、車椅子を押してあげていたり、新聞を読み回されている際にトラブルにならない様に見守りを行っている。	日頃からレクリエーション等を通じて、入居者様同士が関わり合える環境を作ると共に、車椅子を押してあげていたり、新聞を読み回されている際にトラブルにならない様に見守りを行っている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去や転居された後でも、必要に応じて相談や助言ができる様に努めている。	退去や転居された後でも、必要に応じて相談や助言ができる様に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の会話や表情から入居者様一人一人の思いを把握し、サービス担当者会議時に話し合い、本人本位に検討している。	日頃の会話や表情から入居者様一人一人の思いを把握し、サービス担当者会議時に話し合い、本人本位に検討している。	入居者の日常生活でスタッフが寄り添う時間は十分にある。入居者の思いを把握し、希望や意向を家族と相談し、困難な場合は、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様との会話だけでなく、ご家族様へも本人様の生活歴をお聞きし、これまでの暮らしを把握して支援方法の一つとして検討している。	ご本人様との会話だけでなく、ご家族様へも本人様の生活歴をお聞きし、これまでの暮らしを把握して支援方法の一つとして検討している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人一人の現状や状況を些細な事でも日々の記録として残し、スタッフが把握できる様に努めている。	入居者様一人一人の現状や状況を些細な事でも日々の記録として残し、スタッフが把握できる様に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様それぞれに担当者を決めて、毎月モニタリングを行い新たな課題がないか検討すると共に、サービス担当者会議を定期的開催し、ケアのあり方について話し合いを行い介護計画を作成している。	入居者様それぞれに担当者を決めて、毎月モニタリングを行い新たな課題がないか検討すると共に、サービス担当者会議を定期的開催し、ケアのあり方について話し合いを行い介護計画を作成している。	入居者ごとに担当者を決め、担当者は毎日の生活状況を記録し、これを基に毎月モニタリング表を作成し、短期は3ヶ月、長期6ヶ月の計画見直しを目標に家族・介護計画作成者を含めたサービス担当者会議を開催し、意見やアイデアを頂いて介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアの中で気づき等があれば些細な事でも個人記録やケース記録に残し、介護計画の見直しに活かしている。	ケアの中で気づき等があれば些細な事でも個人記録やケース記録に残し、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様の面会時に話を聞いたりして、対応が必要な事項については、その時々で臨機応変に対応できる様に努めている。	ご家族様の面会時に話を聞いたりして、対応が必要な事項については、その時々で臨機応変に対応できる様に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	通所リハビリを利用したり、行事の時には地域ボランティアの方々を招待し、ボランティアの方々と入居者様とが一緒に合唱したりして、楽しむ事ができる様に支援している。	通所リハビリを利用したり、行事の時には地域ボランティアの方々を招待し、ボランティアの方々と入居者様とが一緒に合唱したりして、楽しむ事ができる様に支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医がある場合は、ご家族様の協力の下に継続して受診できる様に支援している。また、協力医療機関での受診はスタッフが対応し、週1回の在宅診療や訪問看護ステーションと連携を取り、適切な医療を受けていただける様に支援している。	入居前からのかかりつけ医がある場合は、ご家族様の協力の下に継続して受診できる様に支援している。また、協力医療機関での受診はスタッフが対応し、週1回の在宅診療や訪問看護ステーションと連携を取り、適切な医療を受けていただける様に支援している。	基本的には従来のかかりつけ医の受診を尊重している。特に眼科、皮膚科については家族の協力を得て受診して頂いている。総合的には協力病院医師による週一度の往診を頂き、かかりつけ医にも報告をし、適切な医療が受けられるように支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の状態観察を行い、異常があれば直ぐに協力医療機関の訪問看護ステーションに報告し受診が受けられる様に努めている。	日々の状態観察を行い、異常があれば直ぐに協力医療機関の訪問看護ステーションに報告し受診が受けられる様に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者と情報交換し、状況を把握して早期退院ができるように努めている。	病院関係者と情報交換し、状況を把握して早期退院ができるように努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にご本人様やご家族様の希望を聞き、終末期の段階の時には、主治医や訪問看護、職員とが連携を図り再確認すると共に看取りの支援ができるように努めている。	入居時にご本人様やご家族様の希望を聞き、終末期の段階の時には、主治医や訪問看護、職員とが連携を図り再確認すると共に看取りの支援ができるように努めている。	重度化や終末期に向けた方針を文書化して入居契約時に入居者や家族と話し合いをしている。又、変化があった場合は家族にも十分説明しながら、協力病院医師、訪問看護ステーションのスタッフとも連携して支援に取り組む体制にある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアル及び訪問看護連絡マニュアルを作成し、対応できる様に努めている。	緊急時対応マニュアル及び訪問看護連絡マニュアルを作成し、対応できる様に努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の指導の下、火災・通報訓練を実施し、災害対策マニュアルを作成し、避難できる方法の周知に努めている。	消防署の指導の下、火災・通報訓練を実施し、災害対策マニュアルを作成し、避難できる方法の周知に努めている。	年二回の防火訓練を実施して、記録も保存している。うち、一回は近隣の消防署立会による総合訓練をおこなっている。近所の神社の境内が広域避難場所になっているので今年度は避難訓練を計画している。	職員だけでの誘導の限界を踏まえ、地域の人々の協力が実際に得られるように、一緒に訓練を行うなど実践的な取り組みを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の人格の尊重とプライバシーに配慮した言葉掛けや対応に心がけると共に、敬意を表した対応に心がけている。	入居者様の人格の尊重とプライバシーに配慮した言葉掛けや対応に心がけると共に、敬意を表した対応に心がけている。	スタッフ全員が入居者を人生の先輩、年長者との意識が強く、研修においても接し方や言葉かけについて十分配慮し、支援している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃から入居者様の話聞き、入居者様の希望や要望に沿った生活ができるに働きかけている。	日頃から入居者様の話聞き、入居者様の希望や要望に沿った生活ができるに働きかけている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の体調やペースに合わせて、希望に沿った支援をしている。	入居者様の体調やペースに合わせて、希望に沿った支援をしている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月訪問理髪の方に来て頂き、カットや白髪染めをされている。	毎月訪問理髪の方に来て頂き、カットや白髪染めをされている。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器の片付けやテーブル拭きなど出来る範囲の事は一緒に行っている。	食器の片付けやテーブル拭きなど出来る範囲の事は一緒に行っている。	調理の準備からテーブル拭きや配膳、下膳、食器拭き等入居者の出来る範囲で一緒に行っている。又、食事も手のあいたスタッフから交代に入居者と共に食卓を囲み会話を楽しんでいる。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様の状態に合わせた食事形態や食事量を随時検討し一覧表を作成している。又、水分摂取量のチェック表素に1日の摂取量を把握している。	入居者様の状態に合わせた食事形態や食事量を随時検討し一覧表を作成している。又、水分摂取量のチェック表素に1日の摂取量を把握している。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、入居者様一人一人に歯磨きの声かけを行い、個別にケアを行っている。	毎食後、入居者様一人一人に歯磨きの声かけを行い、個別にケアを行っている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別に排泄の記録を行い、日中はオムツの使用を出来るだけ無くし、トイレ誘導を行っている。排泄用具に関しては随時検討し、連絡帳にて周知徹底している。	個別に排泄の記録を行い、日中はオムツの使用を出来るだけ無くし、トイレ誘導を行っている。排泄用具に関しては随時検討し、連絡帳にて周知徹底している。	個別に排泄チェック表を用いて入居者の排泄パターンを把握し、誘導する事により失敗を減らして気持ちの良い排泄を心掛けている。日中おむつ使用の入居者もおられるが、機会あるごとに離床して頂く事によりバット・安心パンツへと自立に向けて支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ薬には頼らず、起床時に冷水を飲用して頂いたり、食前に冷たい牛乳等を飲用して頂いている。	出来るだけ薬には頼らず、起床時に冷水を飲用して頂いたり、食前に冷たい牛乳等を飲用して頂いている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決まっているが、一人一人の体調を見て入浴日を変更したり、午前と午後を入れ替える等、その方に応じた入浴の支援を行っている。	入浴日は決まっているが、一人一人の体調を見て入浴日を変更したり、午前と午後を入れ替える等、その方に応じた入浴の支援を行っている。	入浴は週三回をめぐりに清潔保持を目指しているが、その日の体調により清拭や足浴で対応することもある。又、希望があれば曜日を変更することも可能である。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の状態に応じて休息を促している。自室で休まれる時には、室温の調整や乾燥しない様に加湿器を設置して、気持ちよく眠れる様支援している。	入居者様の状態に応じて休息を促している。自室で休まれる時には、室温の調整や乾燥しない様に加湿器を設置して、気持ちよく眠れる様支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様一人一人の個人ファイルに薬の説明書を挟み、いつでもスタッフが確認出来る様になっている。又、内服薬の変更・追加時はその都度、協力医療機関の看護師や、薬局の薬剤師より説明を受けている。	入居者様一人一人の個人ファイルに薬の説明書を挟み、いつでもスタッフが確認出来る様になっている。又、内服薬の変更・追加時はその都度、協力医療機関の看護師や、薬局の薬剤師より説明を受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様それぞれに出来る事を見極めて、個々にお手伝いをお願いし、役割を分担している。	入居者様それぞれに出来る事を見極めて、個々にお手伝いをお願いし、役割を分担している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域の敬老会や、希望時にはご家族の協力の下いつでも外出できる様に支援している。	地域の敬老会や、希望時にはご家族の協力の下いつでも外出できる様に支援している。	お天気が良く暖かい日に入居者の希望によってスタッフと共に近所の神社の境内に出かけている。又、月に一度くらいワゴン車で行事にでかけている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1階) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2階) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が出来る方に関しては小額を自身で管理している。レクリエーションの一環として買い物や月に一度計画しており、希望者は買い物へも行っている。	自己管理が出来る方に関しては小額を自身で管理している。レクリエーションの一環として買い物や月に一度計画しており、希望者は買い物へも行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望・要望時には電話をかけた後、手紙のやり取りが出来る様支援している。	希望・要望時には電話をかけた後、手紙のやり取りが出来る様支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾りつけ等をしたり、観葉植物を置いたりして、居心地よく過ごせる様な工夫をしている。また、トイレや洗面所・食堂等の共用空間の環境整備に努めている。	季節に応じた飾りつけ等をしたり、観葉植物を置いたりして、居心地よく過ごせる様な工夫をしている。また、トイレや洗面所・食堂等の共用空間の環境整備に努めている。	ホームは真新しく木の香りが漂っておりゆっくりとした雰囲気である。皆さんが過ごされているテイルームも温・湿度計も備えられていて、採光もカーテン等で適当である。又、廊下は調理場・テーブルを中心に回廊に設計されていて入居者も混乱なく過ごせる工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置いたりして、それぞれ好きな場所で過ごせる様にしている。	ソファを置いたりして、それぞれ好きな場所で過ごせる様にしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れた家具等を持って来て頂き、居心地よく過ごせる工夫をしている。	自宅で使い慣れた家具等を持って来て頂き、居心地よく過ごせる工夫をしている。	新築移転されてまだ一年余りである。お仏壇等自宅から運び込まれたものもあり、使い慣れた物を活かして入居者の居心地をよくする工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差のない造り・手すりの設置・時計・日めくりカレンダーの設置等、居室・共用スペース共に工夫を行い必要に応じた環境作りを行っている。	段差のない造り・手すりの設置・時計・日めくりカレンダーの設置等、居室・共用スペース共に工夫を行い必要に応じた環境作りを行っている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない